

令和2(2020)年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：33010
学校名：札幌市立元町中学校

改訂のポイント		○自ら考え、判断し、表現する生徒の育成 ○課題を自分のものとし課題解決のために粘り強く学習に取り組む生徒の育成		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら考え、計画→実行→確認→改善（PDCA）サイクルを活用し、粘り強く学習できる生徒。 ☆学び合い、認め合い、互いに高め合いながら成長できる生徒。		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ○生徒の疑問から課題が設定され、それを生徒が意欲的に解決しようとする授業の工夫改善 ○適切なタイミングで、生徒の学びを促す評価の工夫改善。	【成果】 ⇒「分からないことは自分で調べてはつきりさせる」と答えた生徒が74%。 「同じ間違いをしないよう気を付ける」が84%。	【課題】 ◇自らの学びを促す授業の組み立て方の工夫改善。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○学び合いによる授業の更なる蓄積と他教科や他学年への応用の工夫改善。	【成果】 ⇒学び合いの場の増加、教科横断的な取組を行うことができた。	【課題】 ◇教科による偏りへの改善。学びを生かす工夫。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○生徒の学習記録、学活ノート、テスト計画が連携し、機能するような工夫改善。	【成果】 ⇒記録により、PDCAサイクルを意識できるようになった生徒が増加した。	【課題】 ◇記録の継続の大切さを指導。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 生徒が①意欲的に学ぶ、②自ら課題を設定し主体的に学ぶ、③粘り強く学習に取り組む、指導の工夫		
	具体的な改善策（取組）	○「分かる・できる・楽しい」と感じることでできる授業づくりの充実 ○生徒が自ら課題を設定し、学び合うことでできる授業の工夫改善。 ○生徒の学びを適切に見取り、生徒が自ら課題を意識できる評価の工夫改善。 ○生徒の学習記録、学活ノート、テスト計画表の記録を通して、生徒がPDCAサイクルを意識する。 ○生徒の学びを家庭と共有し、個に応じた学習改善につなげる（さっぽろっ子『学び』のススメの活用）。		
方法	検証の方法	○各教科の評価基準に基づく学習状況評価の結果の活用 ○全国学力学習状況調査や学校独自の調査結果等の活用、札幌市全体の共通指標の活用 ○ガイダンス機能の充実や教育相談における学習の個別指導を広げる		